



初めてのダブルダッチに挑戦する子どもたち

小学生にダブルダッチ指導 ジュニアスポーツ教室開催

ジュニアスポーツ教室「ダブルダッチ」が5月11日(土)に西和泉体育館で行われ、参加した小学2・3年生たちは初めて体験するダブルダッチに真剣な表情で取り組んでいた。

狛江第二中学校のダブルダッチ部が平成26年と29年に世界大会で優勝して一躍市民の注目を集め、現在も市内で競技を続けている人がいる。教室の運営にあたっているスポーツ推進委員会議では、新しいスポーツを子どもたちに知ってもらおうと初めて取り上げることにし、市内の小学生10人が参加した。

この日は、二中でダブルダッチ部に所属し、日本体育大学で全国大会優勝、アメリカでの世界大会に出場した細田光翼さんらの指導で、基本的な跳び方などを学んだ。

参加した子どもたちは「初めてだったけど、楽しかった」と喜び、細田さんは「子どもたちは上達が早くて驚きました」と話していた。

教室は6月29日(土)までの土曜日に8回にわたって開催し、パフォーマンスを作って発表することになっている。

陸上競技の楽しさを伝える ジュニア陸上教室を開催

陸上競技の楽しさを子どもたちに伝える狛陸ジュニア陸上教室が5月から開催されている。令和6年

度東京都ジュニア育成地域推進事業として東京都(公財)東京都体育協会、NPO法人狛江市スポーツ協会の主催、狛江市陸上競技協会の主管

で実施するもの。

西和泉グラウンドを会場に、令和7年2月16日(日)までの月1回、日曜日の午前9時30分～正午に開催する予定。陸上競技の基本的な練習などを通してジュニア期に必要な心身の成長を促し、将来を見据えた育成を行う。定員は各回約50人(先着順)で、参加費は1回500円。申し込みは各回ごとにホームページから行う。

問い合わせは ☎5761-3463 オフィスNRP。

子どもが野菜の植え付け体験 ふらっとなんぶのミニ菜園

多世代・多機能型交流拠点ふらっ

となんぶ(駒井町3-7-1)にあるミニ菜園で5月15日(土)に野菜の植え付け体験が行われた。

小学生や幼児など8人が参加、野菜ソムリエプロの香月りささんの指導で施設の庭にサツマイモの苗の植え付けと枝豆の種まきを行ったほか、バジル、シシトウ、トウガラシの苗をプランターに植えた。参加した子どもたちは「元気に育つといいね」などと話して収穫を心待ちにしていた。

水やりなど普段の手入れには地域の人も協力し、様々な野菜や花などを育てている。



サツマイモの苗を植え付け

2日に21団体が出演し初夏の音楽会 スポット

第49回初夏の音楽会が2日(土)午前11時から(開場10時30分)エコルマホールで開かれる。

狛江市音楽連盟に加盟する団体と公募団体で初夏の音楽会実行委員会を組織して市民の手で運営している。この音楽会は、平成10年から分かれて開催しているバンドフェスティバルとともに市内のアマチュア音楽団体最大のイベントとして親しまれている。



昨年の初夏の音楽会

今回はコーラス11、器楽10の計21団体が出演、幼児から90代までの幅広い年代が日頃の成果を披露する。また、中学校と高等学校5団体に加え、狛江第六小学校合唱団が小学生の団体では初めて出演する。また、テレビドラマで評判になった「東京ブギウギ」を3つの合唱団が披露するのも聴きどころ。フィナーレでは出演団体有志や観客が市の歌「水と緑のまち」を歌う。

実行委員会では「音楽会を聴いて音楽団体に入った人も多い、気軽に来場を」と呼びかけている。入場は無料。

問い合わせ ☎・FAX3488-5965 狛江市音楽連盟小笠原さん。



市民ひろばで花や苗を即売

花とみどりの即売会開催 市民ひろばが春の花畑に

花とみどりの即売会が4月27日(土)と28日(日)に市役所市民ひろばで催された。

花や緑を育てることを通してコミュニティの場を創り、緑化の推進を図ることなどを目的に狛江市緑化推進事業協議会が春と秋に催しているもので、101回を数える。

市内の生産者や造園業者が花や植木、野菜の苗などを手頃な価格で提供、多くの人たちが次々に買い求めていた。

また会場では日々草、ペンタス、青じそ・バジル、マリーゴールドの花と野菜の苗を4回にわたって無料で配布、長い列ができていた。

専門家による植木の剪定や花の育て方などの緑化相談も行われ、手入れの仕方について熱心に質問する人もいた。

えきまえ広場で上手いもの市 福祉事業所が食品など販売

「初夏の上手いもの市」(狛江市、上手いもの市実行委員会主催)が5月21日(土)に狛江駅北口のえきまえ広場で開かれ、市内9カ所の福祉事業所が様々な食品や雑貨を販売、訪れた人たちは商品や業務について説明を聞いたりしながら気に入った品を買い求めていた。



テントで食品や雑貨を販売

昨年までは狛江駅の南北自由通路で2日間開いていたが、今回は駅周辺の工事の影響で会場を移し、会期も1日に短縮された。

出店したのはひかり作業所、こまえ工房、ワークイン・メイ、カレシヨップ・メイ、麦の穂、パザパ、ポンテ、ワークひなた、えるぶで、クッキーやパウンドケーキ、菓子パン、ジャムなどの食品のほか、押し花、手織り製品、入浴剤、雑貨など、それぞれの事業所で障がいのある人たちが作っている商品を販売した。売り上げは障がいのある人の社会参加や自立生活の支援などに使われる。

会場ではバイオリンとキーボードによるクラシックや童謡などの生演奏も行われ、多くの人が足を止めて聴き入っていた。



ボランティア体験イベント

ボランティア活動の入口として参加できるプログラム

■おりがみボラ(旧おりがみサロン)

5日(土)・7月3日(日)午後2時～3時30分 こまえ正吉苑二番館いちようホール。折り紙を習ったり、教え合ったりする。習った折り紙を地



ここに掲載している情報についてはこまえくぼ1234へお問い合わせください。

域で教えるボランティア活動にも生かせる。

■切手ボラ(旧切手カフェ)

24日(土)午後1時30分～3時 あいとぴあセンター3階ボランティア室。集められた使用済み切手の整理を行う。ハサミを使って古切手を整えたり、仕分けをするなど簡単な作業をするボランティア活動。

災害ボランティアって? ～被災地に行く前の準備～

被災地に行く前に最新の情報を収集しましょう。現地への電話での問い

合わせは負担になる場合があるため、なるべくホームページ等を中心に正確な情報を得ることが必要です。

1. 地域の被害状況を調べるほかに、電気や水道の復旧状況も確認する。
2. ボランティア受け入れを行っている団体の受け入れ内容や条件を確認する。
3. 活動先までの交通手段の確認、駐車場の有無の確認、宿泊場所を確保する。
4. ボランティア保険に加入する。



狛江市市民活動支援センター(こまえくぼ1234)

〒201-8585 狛江市和泉本町1-1-5 ☎5761-5556 FAX5761-5033 M info@vc.komae.org

ホームページはこちら →

